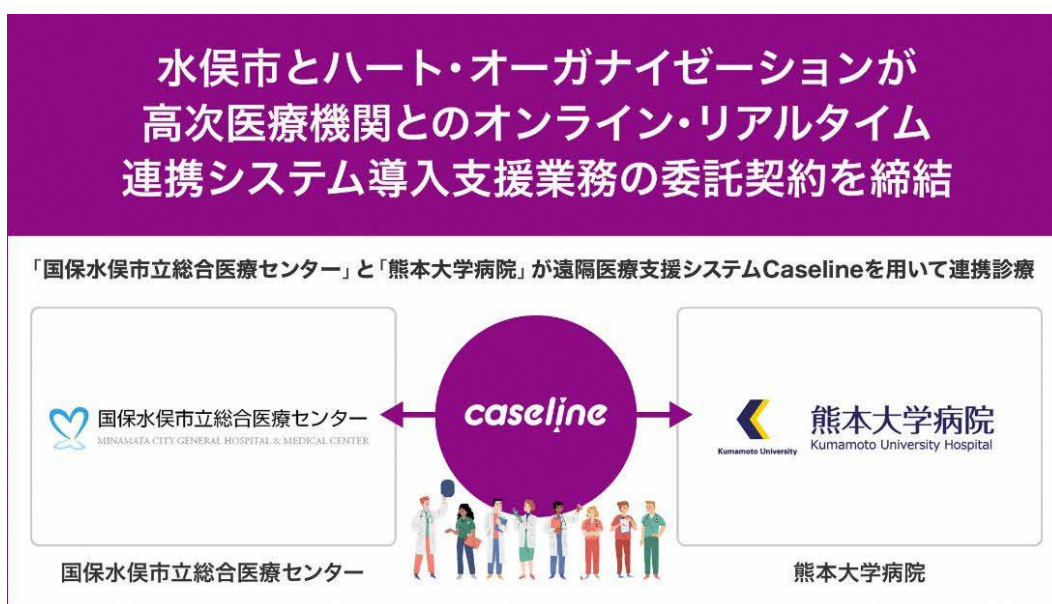


水俣市とハート・オーガナイゼーションが高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システム導入支援業務の委託契約を締結

～国保水俣市立総合医療センターと熊本大学病院が遠隔医療支援システム Caseline を用いて連携診療～

熊本県水俣市（市長：高岡利治）と株式会社ハート・オーガナイゼーション（本社：大阪市淀川区、代表取締役：菅原俊子）は、高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システム導入支援業務についての委託契約を締結しました。



本業務は、地域の急性期医療を担う地域中核病院である国保水俣市立総合医療センター（以下「総合医療センター」）において、大学病院等の高次医療機関とオンライン環境下でリアルタイムに連携し、治療方針相談や連携診療を行い、質の高い医療、手術等を提供できるしくみづくりを目的としています。

具体的には、総合医療センターの医師及び医療スタッフに対し、高次医療機関等の遠隔地にいる医師が、画像や音声等を用いてリアルタイムに診療等を支援（以下「遠隔医療支援」）することができるオンライン・リアルタイム連携システムの導入を支援するものであり、ハート・オーガナイゼーションが開発・提供する遠隔医療支援システム（医療機器プログラム認証）「Caseline（ケースライン）」を使用して高次医療機関からの遠隔医療支援を実現します。

【水俣市長 高岡利治のコメント】

水俣市は熊本県の南端、鹿児島県と隣接した地域であり、総合医療センターは、水俣市北医療圏のみならず鹿児島県北薩地域の地域医療を担っています。大学病院等の高次医療機関が存在しない当地域では、特に急性期において、より早くより正確に、高次医療機関の専門医と連携することが、地域の皆様により良い医療を提供するために重要な課題でした。

この度の契約締結により Caseline を活用することで、当地域の住民のみならず高度医療の提供や高次医療機関への移動等の負担軽減等を図り、地域で安心して暮らせる環境づくりの実現のみならず、医療従事者の働き方改革、医療資源の確保にも寄与できることを期待しています。また、今回の事業が、本市と同じような課題を持つ地域にとってのヒントとなれば幸いです。

【株式会社ハート・オーガナイゼーション 代表取締役 菅原俊子のコメント】

本業務の契約を締結できましたことを心より感謝申し上げます。Caseline の導入により、総合医療センターにおいて遠隔地の高次医療機関の専門医の診療支援を受けられるようになることで、水俣市の地域医療の質が向上することに貢献できればと思っています。私たちは「医師が専門医と協力して治療ができる世界」を実現し、医師や医療従事者の皆さまの負担を軽減しながら、患者さまにより質の高い医療が提供できる環境の構築をこれからも広めてまいりたいと思います。

【本業務の概要】

1. 委託業務名

高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システム導入支援業務

2. 業務履行期間

令和5年1月15日から令和6年2月29日まで

3. 委託業務内容

1) 高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システム環境構築の支援

① 地域の急性期医療を担う地域中核病院等が無理なく利用できるシステムの提案及び導入支援

② 提案及び導入支援を行うシステム

- ・遠隔地の医師がリアルタイムに画像を表示し、同時に音声通信を行いながら表示画像に対し座標指示、アノテーション指示が可能
- ・遠隔地において画像と音声のリアルタイム表示を実現し、画像データの移動、保存を伴わないストリーミング環境の構築が可能

2) 高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システムの端末構築及び設置

① 必要な端末構築及び設置 ※設置に係る機器、備品購入費及びシステムライセンス料、システム設定費は委託料に含む

② 医療機関の必要箇所に機器、設備を設置。システム環境の構築拠点医療機関は以下の2か所

- ・国保水俣市立総合医療センター
- ・熊本大学病院

【遠隔医療支援システム Caseline について】

Caseline は、救急搬送・処置中の現場医師と遠隔の専門医とをリアルタイムでつなぎ、施設内で表示されている医用画像・映像をタブレット端末を介して共有しながら音声通話で遠隔診断をサポートできます。また、治療の方向性を遠隔の専門医に相談するための遠隔医療支援ツールとしてもお使いいただけます。わずかな手順で双方向のコミュニケーションが開始できる点が特長です。Caseline は医療機器プログラムの認証を受けており、3省2ガイドライン^(※1)に準拠しています。また、外部サーバーを介さないのサーバーやデバイスにもデータが残りません。

Caseline は汎用画像診断装置ワークステーション用プログラムとして認証・保険適用されています。脳神経外科領域において、脳卒中ケアユニット入院医療管理料に関する施設基準の夜間・休日の要件緩和に必要な「診療上必要な情報を直ちに送受信できる体制」^(※2)を構築するために Caseline をご利用いただけます。

URL : <https://www.caseline-medical.com>

一般的名称 : 汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム

販売名 : 医用画像共有プログラム Caseline (ケースライン)

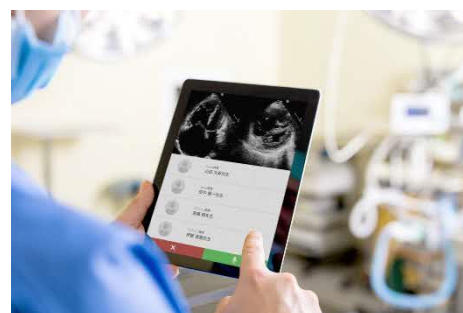
認証番号 : 303AGBZX00069000

クラス分類 : 管理医療機器 (クラスⅡ)

※1 医療に関する情報を取り扱う事業者が準拠すべき医療情報の保護に関するガイドライン。厚生労働省によるものと、経済産業省・総務省によるものの2つで構成。

※2 厚生労働省「平成28年度診療報酬改定における主要改定項目について」P.66 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の医師配置要件の見直し

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000114740.pdf>



【水俣市 概要】

水俣市は、熊本県の南端、鹿児島県との県境に位置する人口約 2 万 2000 人の自治体です。約 75%を山林が占め、北東を矢城山、大関山、国見山、南東を矢筈岳、鬼岳、亀嶺峠に連なる山々に囲まれ、西側に面した八代海（不知火海）の海辺はリアス海岸の風光明媚な景観が魅力です。天草諸島を望む海辺には“湯の児温泉”を、山間には“湯の鶴温泉”という趣の異なる良質な温泉を有しており、温暖な気候に育まれた柑橘類、水俣独自のスイーツやちゃんぼんなどのグルメも盛りだくさんです。2020 年には、熊本県内で 3 番目の「SDGs 未来都市」に選定されました。

水俣市では、医療における ICT の活用を推進しており、その中で、医療機関同士が相互に円滑な連携を図り、その有する機能を有効活用することにより、患者さまが適切な医療を受けられるように、地域医療連携を推進しています。

URL : <https://www.city.minamata.lg.jp>

【株式会社ハート・オーガナイゼーション 会社概要】

株式会社ハート・オーガナイゼーション

所在地：大阪府大阪市淀川区西中島 5-5-15 新大阪セントラルタワー4 階

設立：2004 年 1 月

創業者・代表取締役：菅原 俊子

資本金：約 2 億円（資本準備金含む）

URL : <https://www.heartorg.co.jp>

事業内容：① Web サービス事業 ② 医療機器事業

① ライブ研究会プラットフォーム e-casebook LIVE（イーケースブック・ライブ）<https://www.e-casebook.com>

② 医用画像共有プログラム Caseline（ケースライン）<https://www.caseline-medical.com>

「医師をつなぎ 医療格差をなくす」をミッションに、女性起業家・菅原が、製薬会社時代に感じた医療業界の課題を解決すべく創業し、医師が本当に必要とする、知識・経験・技術を共有するための症例ベースのプラットフォームを作りました。現在では、国内外の専門医ユーザー 5 万 7 千人（うち世界 126 カ国海外専門医ユーザー 5 千人）の循環器内科・整形外科・脳神経外科・消化器科を中心とした方々に利用されています。このプラットフォームを通じて、世界中の医師がいつでも、どこでも、医師が必要だと思う情報にアクセスできる世界をつくり、治療の選択肢を増やすことで「医療の格差のない社会」の実現を目指します。

【本件に関するお問合せ】

国保水俣市立総合医療センター 総務課 経営・情報企画室

TEL : 0966-63-2101

MAIL : motomura-ht@city.minamata.lg.jp

株式会社ハート・オーガナイゼーション 広報

TEL 080-2434-2372

MAIL : kimura@heartorg.co.jp